

# 環境美化に向けて〇〇 (11月22日)

## 環境を考えるシンポジウム

11月29日には十市地区海岸を一斉清掃



つくるのは  
ごみ、ハエ問題解決へと、熱心に話し合った美化シンポジウム(三和小体育館)

「あなたです、きれいな街をつくるのは」をテーマに、第二回南国市の環境を考えるシンポジウムが十一月二十二日、三和小学校で開かれ、十人のパネリストと約百人の市民が参加、熱心な討議が行われました。

これは、ごみやハエの問題を解決するために、市海岸地域美化推進協議会と三和農業協同組合、十市農業協同組合、丸十園芸組合、市農業協同組合が主催して去年から開いているものです。  
まず、市海岸地域美化推進協議会の徳永安雄会長が、今までの経過と現状を報告。続いてパネリストの意見発表討議に移りました。

パネリストの主な意見は次のとおりです。

○ハエは総合防除を行う。殺虫剤に対して抵抗性が出てきているので、幼虫対策を徹底的に行い、並行して成虫対策を行う。

○生態系の改善のため、ハエが発生しないような肥料を使う。

○ハウス廃材の鉄類は、選定した業者が集積場に集めて一括処理をすれば、不法投棄はなくなる。

○廃棄物の処理、清掃は市の担当だが、住民の美化意識とモラルに待つところが大きい。地域を美しくするという問題意識を高める。

今後は地域住民が地域の美化について統一的な理解をし合い、実践

活動に努める。

自分のものは自分で処理するという気持ちにならなければならない。

○集落ごとに海岸地域美化推進協議会のようなものを作り、一丸となって環境問題に取り組む意識を盛り上げていく。

パネル討議の後、会場を訪れた皆さんも参加して自由討議を行い、下田川や舟入川のちり問題、不燃廃材の回収問題、ハエ

の大量発生の問題、海岸保全の問題などが話し合われ、参加者の環境美化に対する熱意が伺われました。

最後に、部落ごとにきめ細かな事業を進めていくために、地域ぐるみの美化総合推進組織を作ることを提案し、閉会しました。

シンポジウムからちょうど一週間後の十一月二十九日、十市地区の園芸農家を中心に、一般住民、衛生委員など多数の皆さんが参加して、建設省 東南国土木事務所、



11月29日には十市地区の皆さんを中心に大勢の人たちが海岸の一斉清掃をした

市の協力で、十市地区海岸線の一斉清掃を実施しました。

堤防の前は、ハウスの廃材や野菜くずが空き缶や空き瓶などの家庭からのごみも混ざりごみの山。約三時間にわたって分類、焼却等の作業を行いました。ごみの撤去には再度の作業が必要ということになりました。

参加者はごみの量に驚くとともに、「もう捨てられん」と口々に話し、海岸美化の決意を新たにしていました。